

第2回 G20 福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議 推進協力委員会 会議録

日時：平成30年9月26日(水)
午前11時20分～11時45分
会場：福岡市役所 9階 庁議室

1 開会あいさつ

(福岡市長 高島 宗一郎)

- ・第1回目から3ヶ月が経ち、この間、6月末には会場がヒルトンシーホークに決定され、また7月会期中の交通混雑を抑えるための交通総量抑制連絡協議会が立ち上がるなど、会議の開催に向けた国と地元の動きがより具体的になってきた。
- ・福岡市でも先日の9月議会でG20関連の予算の議決をいただき、会議参加者や関係者の方、またメディアの皆様には福岡・九州の魅力を発信して行きながら、しっかりとおもてなしをしたいと考えている。
- ・さらに金融の世界にイノベーションの波が押し寄せているというこの機会を捉え、是非子ども達に、また市民の皆様を対象にさまざまな事業を展開し、ここ福岡で会議が開催される意味というものを是非ご理解いただきたいと考えている。
- ・また今日は各委員の皆様でご検討されているG20の関連事業についても、ご説明をいただいて情報共有を行いたい。
- ・地元一丸となって福岡を世界にアピール出来るように、そして街をあげての歓迎ムードを作り出していけるように取り組んでいきたいと考えており、本日もよろしく願います。

2 事業イメージ説明

(事務局)

配布資料にて説明

＜各委員より「関連事業」説明＞

（九州経済連合会 麻生会長）

- ・今年7月、九州全県の知事、副知事がパリに行き、2019年にはラグビーもあるが、G20もあるので九州へ来てくださると、全国でも珍しい活動を行った。
- ・私ども経済団体とすれば、これは非常にいい機会なので東京、大阪、京都、最近では札幌という事で、南側、西側のイメージが弱いという中で、G20を是非フルにいろいろな形でバックアップしていきたい。
- ・私どもが重要視しているのは、首脳、それに一緒について来るスタッフが博多でのサービスやおいしさでいい思いをするよう、九経連の会員全員で作って行こうと呼びかけていく。
- ・今後も、こういう機会を捉えアジアから、あるいは世界からのイメージアップを経済団体として進めてまいることをお約束する。

（福岡商工会議所 川波氏）

- ・福岡商工会議所では2つ考えている。
- ・まず1つは機運の醸成という事で、会議所は、約16,000の会員を11部会に分けており、その中に年2回講演会を行っている金融、不動産業を中心とした理財部会において、財務省の方か、市関係者を講師にお招きし、G20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議をテーマにした講演会を春期に実施したい。
- ・もう一つは、おもてなしという観点で、福岡の魅力と言え食であることから、食の事業を複数実施している会議所として、そのノウハウを活かし、まだ具体的な案はないが、関係団体と調整しながら食にまつわるイベントを開催したい。

（九州観光推進機構 緒方氏）

- ・当機構としては、九州の魅力と九州の旅行情報等を会議に参加する海外プレスの関係者の方々等を中心に情報提供を行いたい。
- ・現在、機構の会員と旅行会社に対して、外国人が気軽に九州を旅行出来る、旅行商品の照会を行っており、完成イメージは、会議終了後、福岡を発着とし、日帰りや1泊2日、2泊3日等の九州の旅行等を紹介し、WEB等を通じて、また英語での申し込みや情報発信が出来るような仕組みを構築し、会議関係者の皆様に案内をしたい。
- ・ひとりでも多くの方に九州観光の魅力を感じていただけるよう、各国での情報発信や紹介を強化していきたい。

(福岡観光コンベンションビューロー 合野氏)

- ・まず1点目は、毎年開催し、来年は5月22日に開催する「フランス・福岡・九州経済フォーラム」この会議の冠に祝G20と付け、経済についてのディスカッションを実施する。
- ・2点目が土産物の開発である。賛助会員のうち約40社から60社に働きかけ、G20記念の土産物の開発を行いたい。
- ・3点目がレストランにおけるメニュー開発である。各G20の国を代表するようなメニューを、賛助会員に働きかけて、メニュー開発を広く募りたい。
- ・最後にMICEセミナーの開催である。特にMICEの事業者、ホテル関係者、観光、交通事業者等向けにおもてなしの研修を含めましたセミナーの開発を行い、実施したい。

(福岡よかトピア国際交流財団 吉田氏)

- ・当財団では、市民の機運の醸成を図るために、G20の参加国、地域出身の留学生を講師とした特別イベントを開催する予定である。
- ・具体的には、言語学習を含めた、その国の文化や風習に触れる外国語教室、あるいは留学生が母国の歴史や文化を日本語で語る講演会を実施する。

(博多まちづくり推進協議会 松下会長)

- ・貴重なこの機会を捉え、2つの事を大きくやっていく。
- ・1つは今後、当協議会で開催いたしますイベントで、キャッシュレスの導入を試験的に行っていく。
- ・もう1つは、当協議会で定期的で開催している会員向け講座「博多大学」において、特別授業を実施する。

(福岡地域戦略推進協議会 石丸氏)

- ・この機会にあたりフィンテックというキーワードでイベント、関連の事業を開催したいと考えている。
- ・福岡市ではキャッシュレスの取り組みやブロックチェーンコンソーシアムの民間組成など、フィンテックに関する取り組みが進んでいると認識している。
- ・福岡をはじめとするスタートアップの皆様と議論しながら、発信するとともに、スタートアップを増やしていきたい。

(福岡青年会議所 田島会長)

- ・福岡青年会議所としては、G20YEA（ヤングアントレプレナーズアライアンスサミット）の開催を福岡で行いたい。日時は、来年の5月16日から18日を予定している。
- ・G20開催国の企業家、スタートアップ企業、投資家等が集まり、サミットを開催する予定である。日本では初開催となっており、今年は9月21日からアルゼンチンで開催されている。G20構成国から約400名の方々が参加し、G20YEAで取りまとめた内容をG20へも提言するといった会議である。
- ・現在、開催地が福岡でほぼ決まっているが、まだ調整を進めている段階である。

(福岡市自治協議会等7区会長会 楠下会長)

- ・前回の委員会でも申し上げたが、会議の成功のためには、市民に会議の趣旨や意義をしっかりと理解していただくことが重要と考えており、市民に対する周知に対し尽力したい。
- ・会場が決定されてから、各区の会長が集まる共創会議や校区の会長が集まる会議に担当課長から会議の趣旨などを説明してもらっており、このように適宜情報提供いただくことで自治会・町内会長も安心していると思う。
- ・会議開催に近づくにつれ、より詳細な情報がわかってくると思うので、今まで以上に校区の会長会のみならず、自治会・町内会長へのご説明をともにしていきたい。

(福岡経済同友会 貫代表幹事)

- ・福岡経済同友会としては、周知事業に関する取り組みを進める。
- ・具体的には、毎月の有識者を招いての講演会、例会等、会員が参加する会議や、各月で発行している会報誌を活用し、会議への周知を図っていく。
- ・また、物販、飲食サービスの店舗を持つ会員企業も多くおり、これら企業の協力も得ながら店舗での物販等、周知事業に取り組んでいく。
- ・今回のG20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議は、国際都市福岡の魅力を世界にアピールする絶好の機会と考えている。官民、そして市民が一体となった歓迎ムードを醸成するために、各団体と積極的に関連事業、周知事業に取り組んでまいらねばならないと考えている。

3 事業の登録について

(事務局)

配布資料にて説明

(財務省福岡財務支局 河村支局長)

- ・本日の委員会の開催にあたり、私どもG20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議を主催する立場として、滞りなく会議を終えられるよう、諸準備に万全を尽くす所存である。
- ・本日説明があった、さまざまな取り組みが融合することにより、緊密な地域連携の取り組みのもと、福岡での開催意義がいつそう高まると感じている。改めて参画いただいている皆様に感謝を申し上げます。
- ・私どもも財務省の総合出先機関、そして金融庁の事務委託を受ける立場から、福岡市や日本銀行福岡支店と連携を図りながら、福岡市内の小中学生向けにG20や金融経済関連した特別授業の実施を考えており、またG20に関連したシンポジウムの開催を企画する等、開催機運の醸成や福岡・九州の魅力発信に尽力したいと考えているので、ご協力のほど改めてよろしくお願いする。

(日本銀行福岡支店 宮下支店長)

- ・私どもも財務支局と協力し、コンテンツ、そして運営面で協力してサポートし、会議、さらに地元福岡を盛り上げていきたいと考えており、どうぞよろしくお願いする。

(推進協力委員会顧問 福岡市議会 川上議長)

- ・第1回目の会議に出席出来なかったが、本日この会議に出席させていただき、各委員の皆様のご意見を直に聞かせていただき、改めてG20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議が日本にとっても、福岡にとっても重要な会議であり、決して失敗することができないものであると、ひしひしと感じている。
- ・福岡市議会としても、先ほど市長からもあったが、9月議会で当会議の関連予算を可決した事もあり、今後とも皆様方と協力しながら、少しでも市民にとっていい機会になるよう、またこの会議を契機に福岡市のプレゼンスが今まで以上に向上するよう取り組むので、今後ともよろしくお願いする。

4 閉会あいさつ

(福岡市長 高島 宗一郎)

- 各委員の皆様からすばらしいG20の関連事業のイメージの提案をいただき、この3ヶ月間にみなさんの中で議論され、すばらしいご提案をいただいたと非常に心強く感じている。
- 福岡市としては、MICE誘致に更に取り組み、いいチャンスは必ず福岡に持って来る。誘致して終わりではなく、ひとつひとつのチャンスからどれだけビジネスに繋げて行くのか、または市民への啓発などを行い、レガシーを残すことで福岡が次のステージに上って行くような仕掛けをみなさんと取り組んで行きたい。
- このスクラムの体制が普段から出来ていれば、福岡は政令市でMICEが一番多い都市であることから、このビッグチャンスを経営に繋げ、都市としての成長に繋げていけると、今回の皆様のご提案を聞いて確信した。
- 残り9ヶ月を切り、完璧に仕上げ最大限にこのチャンスを活かし、そして日本にとって、福岡にとって、このG20を大成功させるため、力を合わせていきたいと思うので、これからもお力添えのほどよろしく願います。